

ik

ejjuen

敬愛園だよりvol.50

150

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

西円山ヒルズ STORY vol.6

～共感からはじまる地域デザイン～

「未来へつなぐ福祉フェスタ」

祝

敬老の日

ご長寿おめでとうございます。
心より敬意と感謝を申し上げ、これからもより一層豊かに過ごしていただけるよう、職員一同、精一杯励んで参ります



多年にわたり日本を支えてこられた人生の大先輩の皆さまへ感謝の意をこめて敬老のお祝いをさせていただきました。

節目の年齢となられた喜寿・米寿・白寿以上の方に事前にお祝い色のちゃんちゃんこを着ていただき記念撮影を行いました。記念品はこれからの寒い季節に向けてモコモコ素材の暖かいひざ掛けと記念写真！谷内理事長よりお祝いの言葉とともにプレゼントさせていただきました。

職員のコーラス隊と一緒に「兎追〜いしかの山〜」と昔を思い出しながら「ふるさと」等を大合唱！皆さん、大きな声で歌っていらっしゃいました。カラオケでの「浪花節だよ人生は」などの懐かしい曲にあわせてのスコープ三味線は職員の踊り付き！ご利用者も大喜びで、皆さん手拍子もしながら笑いに包まれる楽しいひとときとなりました。



お祝いことには仮装だね！

スコープ三味線、私も踊りたかったよ〜！

クラブ活動 ご紹介

縫い物クラブ



毎週火・水曜日の午前中にほつれを直したりする縫い物クラブを行っています。ご利用者には、昔は主婦として、職業として、洋裁や和裁を得意としていた方々が大勢いらっしゃいますので、「手が動かないのよ」「昔のようにできないわ」と言いながらも、とても上手に、また、楽しそうに雑巾縫いなどを一緒にされています。昔取った杵柄ですね！！



仕事で縫ってたわよ。出来上がると達成感があっていいんだよね。



皆さんがここに来てお話できて、気分転換になっているようでいいなと思います。帰られるとき「楽しかった」と言って頂けたり、自分から「行きたい」と言って頂けているとお聞きし、裁縫だけではなく違う部分でもボランティア活動できていると感じます。私は裁縫が得意だったわけではなくのですが、敬樹園の広報誌を見て雑巾縫いくらいなら出来るかな？と思って応募しました。今では、ミシンで洋服のホツレを直したり、ズボンのゴムを入れ替えたりすることもやっと慣れてきました。

喫茶店



喫茶店では美味しいコーヒーやアイスなどの他、アコーディオン演奏ができるボランティア様が毎回いらっしゃって、懐かしい歌謡曲を聴かせてくれます！

歌声喫茶のようで
楽しいですね〜



私たちは
タオル畳みの
ボランティア〜♪



皆さんが喜んでいる顔を見ると嬉しいです。自分達も日常と違う事をさせてもらって、気分転換になっています！

ボランティア様より

約20年前から趣味でアコーディオンをはじめました。今は生徒さんに教えたりもしています。アコーディオンはピアノと違い、どこでも持って行って弾けるし、どこか懐かしい音色があるのが良いところだと思います。喫茶店の給仕のボランティアとして応募しましたが、アコーディオンと一緒にやると楽しんでくれる方も多くいらして嬉しいです。



やすらぎ
喫茶「樹」
■毎月第1・3金曜日
10:30 ~ 15:00
毎月第2・4金曜日
14:00 ~ 16:00
全品 100円！

～共感からはじまる地域デザイン！～

未来へつなぐ福祉フェスタ

■ □ 地域の皆さんとの共生をめざして □ ■

社会福祉法人 溪仁会 理事長 谷内 好

たにうち よしみ

さる10月16日、西円山敬樹園が中心となって、「未来へつなぐ福祉フェスタ」を開催しました。「介護のしごと魅力アップ推進事業」の一環として、道の助成を得て実施したものです。

介護を必要とされる方が増える一方で、介護の現場は職員の確保も困難な状況が続いています。また、身体的な介護に止まらず認知症への対応もますます大きな課題となってきました。そうした介護のしごとが少しでも魅力あるものにとの強い願いに共感して、同園が取り組んだものです。

当日は、西円山地区の町内会からもたくさんのご参加をいただき、大変有難うございました。高校生の就労体験のプログラムも設け、介護のしごとの大切さや魅力なども実感していただきました。

さて今回の福祉フェスタは『共感からはじまる地域デザイン』をメインテーマに、共生社会への理解と実践を促すものでした。地域は障害をもった方、介護や日常生活での支援を必要とされる方、経済的に恵まれない方、認知症の方など、さまざまな方々で構成されています。また、町内会や老人クラブ、地域包括支援センターなどの数多くの組織体があり、西円山敬樹園などのようなさまざまな施設

があります。こうしたことを深く理解したうえでお互いに手を携え、助け合っていくというのが日本のこれからの共生社会の姿と言われています。

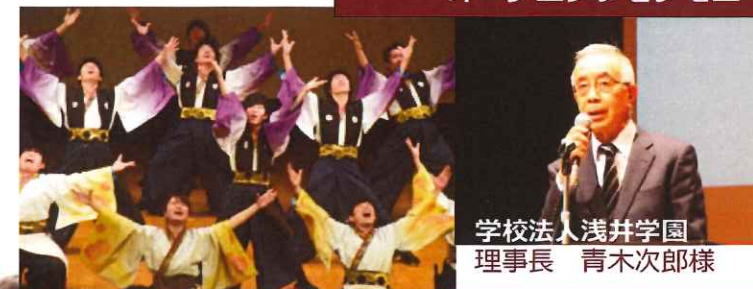
特別養護老人ホームの西円山敬樹園に併設して、軽費老人ホームのカームヒル西円山、グループホームの西円山の丘があります。そして、札幌西円山病院は600余の病床があります。私達は、それぞれの施設をただ運営するだけではなく、地域が抱える課題を理解し、地域と一体となって「共生」していくことが、地域貢献や社会的責任といわれるCSR経営そのものであると考えています。

今回の福祉フェスタは職員全員で考え、たくさんの方々のご協力をいただいて終えることができました。介護の魅力を自ら実感できた一日でした。



2018.10.16（火）北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」にて開催しました。オープニングセレモニーで挨拶に登壇した谷内好理事長に続き、御来賓挨拶として学校法人浅井学園の理事長、青木次郎様からもご挨拶を頂戴しました。そして北翔大学 YOSAKOI ソーランサークル友和の皆さんの演舞で華を添えていただきました。体験プログラムとして、「VR認知症体験会」には定数を上回る応募がありテレビ取材も入る盛況ぶりでした。バーチャルリアリティの技術によって「車から降りるだけでも、ビルの上から飛び降りるかのような距離感を感じてしまう状態（視空間失認）」や、「レビー小体型認知症による幻視」など体験していただきました。また、介護ロボット体験・福祉機器展示コーナーや盲導犬歩行体験もたくさんの方にご来場いただきました。北翔大学の学生さん協力によるシニアファッションショーでは病気などを乗り越えてお元気で活躍される方、はるばる今金町からお越しいただいた方などパワフルなシニアモデル様と北翔大学の学生さんとのコラボにたくさんの方が魅了されました。このほか、同じく円山西町町内会の「生活介護事業所 霖雨の邑」様ご協力による無料カフェコーナーが開催され大変賑わった一日となりました。

オープニングセレモニー

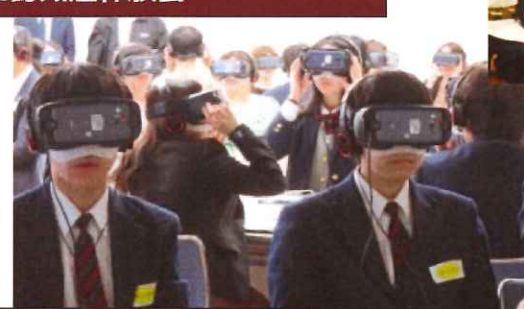


学校法人浅井学園
理事長 青木次郎様

シニアファッションショー



VR認知症体験会



介護ロボット体験・福祉機器展示



協力：マルベリー

盲導犬歩行体験



無料カフェコーナー



講演会

「アングルシフトで未来に希望を」



株式会社シルバーウッド
代表取締役 下河原忠道氏



メディアや海外からも注目されているサービス付高齢者住宅「銀木犀」を運営する下河原氏。「相手の立場にたって物事を見つめなおす“アングルシフト”によって、さまざまな認知症に対する偏見を溶かす取組みとして「VR認知症体験」を開発した経緯や現在の活動、これからの福祉・介護への提言などいただき、会場からは大きな拍手が寄せられました。

参加された方より

とても理解が深まり、新しい気づきができました。またこのようなイベントがあれば参加したい！

もっと色々な方に参加してもらいたいと思うフェスタだった！今後も続けてほしい！

とても貴重な体験ができた！仕事にも日常生活にも生かしていきたいと思った！

就労体験

2018.10.20 (sat)

16日のフェスタでは、VR認知症体験・介護機器体験・講演会とフル参加してくれた高校生の皆さん。後日改めて、就労体験にもご参加いただきました。特養・ケアハウス・グループホームと見学していただき、ボランティアドック様の対応や介護職員との質疑応答・昼食体験などしていただきました。



石狩翔陽高校
の皆さま



ペーパーに興味深々！



介護職員との
座談会！



参加した皆さんからは、「VRはとてもリアルで認知症の方の気持ちがよくわかった、考え方が広がった。」また、就労体験では、「様々な施設を見学でき、趣味活動も盛んで高齢者になっても楽しそうで自分も入りたいと思った。」「今まで学んだことなども意識して、ご利用者と関わることができて良かった。」との感想もいただきました！

これからの日本の未来を担う皆さん、どうぞ素敵な介護職目指して頑張ってくださいね！

中学生 職場体験

宮の森中学校2年生の皆さん

2018.10.18~19

地域の中学2年生が2日間にわたり職業体験に来てくれました！まずは、施設で働く様々な職種を紹介しながら、館内を見学。高齢者疑似体験では「こんなに動きづらいんだ！」「動かせる他の部分に負担がかかる！」など感じていたようです。ご利用者との交流では「認知症の方とお話するのは難しい」と感じながらも「高齢者の笑顔にほっこりした」「認知症の方と職員が上手に会話しててさすがだな、と思った。」などの感想をいただきました。最後に披露してくれた歌やリコーダーにはご利用者から大きな拍手が送られました！

思うように動けない！



行事 album

外出行事



5月より始まった外出行事も8月17日でラストを迎えました！今年は猛暑日が続き、急きょ行き先を変更した日もありましたが、たくさんのご家族（14組17名）にもご参加いただきました！白い恋人パークではお顔より大きなパフェを注文した方も！「絶対食べきれないだろうなあ」と職員が見守っていましたが、「美味しいよ〜」とペロリと完食されました！野球観戦では選手と同じユニフォームを着て応援してきました！また来年に向けて楽しい行き先を検討していきます！



パフェ美味しかった！

生ビール最高！



出前お食事会



9月から11月上旬まで8人前後の小グループに分かれて出前お食事会を開催しています。事前に好みをお聞きし、生寿司、ちらし、定食等ご利用者の食事形態に合わせた昼食を提供しています。普段は各フロアでのお食事ですが、出前の際は1階の喫茶コーナーまでお越しいただいています。お食事とともに、窓からの景色も楽しんでいただき、「紅葉がきれいだね」「お寿司は久しぶりだから嬉しい」など会話もいつもよりはずんでいる様子でした。暖かい日には、園庭のお散歩も楽しんでいただきました。

～円山西町神社例祭～

H30.9.14

「円山西町神社例祭」の子供お神輿が敬樹園をたずねてくれました！法被を着た元気いっぱいの子供たち！ご利用者は「かわいいね」「元気だね」と戻される方も。相談員も朝から応援にかきつけ、一緒に廻り、ゲーム大会などもお手伝いさせていただきました！



うがい・手洗い・マスク着用のお願い

11月に入り、めっきり冷え込むようになりましたが、皆様体調は崩されていませんか？

いよいよ、インフルエンザやノロウイルスなど感染症が流行する季節が近づいてきました。咳やくしゃみ、つばなどの飛沫に含まれるウイルスを、鼻や口から吸い込んだことによる飛沫感染と、電車のつり革やドアノブ、手すりなどに付着したウイルスが、手を介して口や鼻などの粘膜に入ることによる接触感染が主な感染原因といわれています。



高齢の方が感染してしまうと、様々な機能が低下し、重篤な状態になる場合もあります。ご希望の利用者はインフルエンザ予防接種を当園にて接種することができます。申込書をご家族あてに郵送させていただきました。ご不明な点はお気軽にご相談ください。

また、面会に来られる皆様も、ぜひ、うがい・手洗い・マスクの着用をお願いいたします。1階ロビー一面会簿カウンター横には、マスクのほか手指の消毒器も設置しておりますので、どうぞご使用ください。また、体調のすぐれない方やご家族が風邪をひかれている方のご面会につきましては、大変恐縮ですが極力お控えいただけますようお願い申し上げます。

行事予定

12
December

8日(土) イトヨーカドー出張販売

22日(土) ボランティアドッグ

25日(火) クリスマス会

昼食時サンタが登場！

27日(木) 餅つき

2階 10:15～

3階 11:00～



1
January

4日(金) 新年交礼会

お屠蘇で乾杯

26日(土) ボランティアドッグ



イトヨーカドー終了について

長年、毎月ボランティアで開催していただいておりますイトヨーカドー出張販売ですが、このたび**12月8日(土)**の開催をもって**終了**することとなりました。

ご利用者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

尚、1月以降は**注文販売のみ継続**となりますので、ご希望の方は職員までお声かけください。

新春送迎バス乗降場所変更について

北海道神宮参拝客による混雑のため、敬樹園送迎バスの乗降場所を下記のとおり変更いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

日程：平成31年**1月1日(火)～3日(木)**

場所：**地下鉄西18丁目駅 2番出口付近**

【1月1日】	
敬樹園発	西18発
8:20	8:35
10:10	10:20
16:20	16:35
17:50	

【1月2・3日】	
敬樹園発	西18発
8:20	8:35
9:00	9:10
10:10	10:20
16:20	16:35
17:50	

北海道胆振東部地震に際しまして

平成30年9月6日未明に発生しました北海道胆振東部地震にて被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。また、ご利用者・ご家族・関係者の皆様にも大変ご心配をおかけしたことを存じます。当園では、お怪我される方や体調を崩される方もなく、停電も翌日早朝には復旧いたしました。また、その間も非常用発電機にて水道も使用できましたので、食事等も簡易ではありましたが、提供させていただくことができました。一時、電話回線がつながりづらい状況にありましたが、敬樹園公式 facebook より近況報告もさせていただきました。今後も万が一に備えるべく、緊急体制や備蓄の内容を見直しながら、安心・安全に取り組んでまいります！

今年も残すところあと僅かとなりました。毎年1年があっという間に感じますが、今年は特に、全力疾走で駆け抜けた1年だった気がします。北海道命名150年、平成最後の師走と節目の年の締めくくり。震災では、日常生活を見直すきっかけともなりましたが、改めて1年を振り返り、来る年の新たな目標を掲げステージアップするべく、残り1ヶ月邁進したいと思います！（広報委員 CN）

※広報誌への写真掲載に関しましては、承諾を得た上で掲載させていただいております。